

【資料 1】

令和3年度第1回保護林管理委員会における意見概要とその対応について

課題	委員からの主な意見	対応の方向性など	対応結果
議事 (3) 令和2年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について	【綾森林生態系保護地域】 6ページ5行目 「綾の照葉樹林プロジェクト（通称、綾プロ）」の略称を正式名称「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト＝通称、綾プロ）」に修正すること。	正式名称を記載する。	資料1-2-1で説明 （添付図面については参考資料2-1）
	【綾森林生態系保護地域】 6ページ7行目 ユネスコエコパークの核心地域、緩衝地域等の総面積データは2018年の生態系保護地域の保存地区面積増加に伴い変更すべきではないか。	確認の上、整理する。	
	【綾森林生態系保護地域】 8ページ13行目 「サワグルミやカツラが優占」だと短いので、「イヌブナ、カツラ、サワグルミなどの希少な隔離・遺存種が見られる」と表現したほうがはっきりするのではないか。遺存種が紛れ込んでいることは非常に特徴的である。	イヌブナなどの遺存種も盛り込んで記載する。	
	【綾森林生態系保護地域】 1-1ページ 資料図面は、保存地区と保全利用地区の現況区域が誤っている。	修正を行う。	
	【高限山生物群集保護林】 1-7ページ31行目 ブナの南限に着いての記述で、「暖かさの指数（55～75）」の意味と「冬の最低気温12.25℃」をわかりやすい表現にしてもらいたい。暖かさの指数は1年間を通しての指数ではないか。	表現をわかりやすい表現に修正する。	
	【高限山生物群集保護林】 1-5ページ14行目 最近、ホソバシロソウはさらに南に分布していることがわかったので除いたほうがよい。あるいは分布が南限のナツツバキに変えるのはどうか。	削除して修正する。	
	【高限山生物群集保護林】 1-5ページ8行目 「ゴヨウマツ」を正式名称の「ヒメコマツ」に変えたほうがいい。 【高限山生物群集保護林】 1-5ページ8行目 「雲帯」は「雲霧帯」ではないか。	ヒメコマツに変更する。 文献では雲帯と記載があったが、通常使われている雲霧帯に修正する。 注：管理方針書の修正に関しては、委員長に一任する。	
議事 (4) 九州森林管理局保護林管理委員会運営要領の改正について	【緑の回廊に係る所掌範囲】 緑の回廊に関しては、設定だけではなく、保護林と同様に変更及び廃止等も、保護林管理委員会の仕事だと考えるので、再検討を願いたい。	今後の保護林管理委員会で、再度意見をいただく。	資料1-3で説明
議事 (5) その他 (報告等) 令和3年度保護林モニタリング調査について	【プロットの振り替え設定】 大森岳生物群集保護林における北側斜面へのモニタリングプロットの振り替えは適切。その振り替えプロットの位置はまだ決まっていないということか。	今後、北側斜面への振り替えプロット位置の設定について、適地の探索を行い決定し、受託者に指示する。	資料1-4で説明
議事 (5) その他 (報告等) 風力発電・地熱発電に係る国有林野の貸付等の手続き並びに緑の回廊におけるこれらの発電施設の設置等に係る基準について	【緑の回廊について】 緑の回廊の制度と九州における緑の回廊の現状について、次回説明してほしい。	今後、風力発電施設等が緑の回廊に掛かる場合のマニュアルが作成・公表され、関係する通知も行われる予定なので、これを踏まえて、次回の委員会で説明する。	資料2-2、資料2-3等で説明